

【規格名 (和名)】

SS-MIX2 ストレージ仕様書および構築ガイドライン

【規格名 (命名)】

"SS-MIX2 Storage" Specification and Guidelines for Implementation

【規格の目的 (ユースケースを含む)】

地域医療連携等で電子的診療情報交換、多施設間での診療データの効率的な二次利用が求められており、関連団体が標準を策定し公表することで、標準化された診療データ利用の仕組みである SS-MIX2 ストレージ (標準および拡張) の実装の普及が期待されています。本書は厚生労働省電子的診療情報交換事業の成果物「SS-MIX 標準化ストレージ仕様書」をベースに、最新の JAHIS 標準との整合を図ったものです。日本医療情報学会標準策定・維持管理部会、SS-MIX 普及推進コンソーシアム、保健医療福祉情報システム工業会、日本 HL7 協会等が合同で WG により協議を重ねて策定しました。

【規格の適応領域】

患者情報、アレルギー情報、病名情報、給食情報、処方情報、注射情報、検体検査情報、放射線検査情報、内視鏡検査情報、生理検査情報の HL7 標準形式、および HL7 標準でカバーされな

い各種医療文書の電子データによる施設間データ交換およびデータの二次利用。

【関連他標準との関係】

JAHIS 標準や他の厚生労働省標準規格と整合をとっています。

【規格の入手方法】

日本医療情報学会のホームページ <http://www.jami.jp/> から入手できます。

【メンテナンス状況】

日本医療情報学会の標準策定・維持管理部会が必要に応じて行います。

【現在の改版状況】

2016年2月末現在、「SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書」「SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書_コード表」「SS-MIX2 標準化ストレージ構成の説明と構築ガイドライン」「SS-MIX2 拡張ストレージ構成の説明と構築ガイドライン」の4部構成になっており、最新版は2016年2月に制定された、Ver.1.2C (2016.02.12版) です。

【知財に関する留意点】

本規格を使用したシステムに関連する特許が複数存在するので、本規格を実装したシステムを構築する場合には、留意されたし。